

生 研 ニ ュ ー ス

部 外 活 動

— 講 演 —

- ◇大學院特別研究生 田原晴男「遠心型羽根車の理論」機械學會 第514回講演會 (1951.1.20)
- ◇教授 高橋安人, 黒田尙川上昭二「分布側容量熱傳導率の制御性に及ぼす影響」機械學會 第515回講演會 (1951.2.5)
- ◇大學院特別研究生 増淵正美「インディシャルレスボンスから周波數特性を求める實際的方法の一検討機」械學會 第515回講演會 (1951.2.5)
- ◇教授 久保田廣「新しい鋭敏色板について」顯微鏡研究會 (1951.2.14)

- ◇助教 千々岩健兒「鑄物中子の乾燥について」機械學會 第28期定時總會講演會 (1951.4.5)
- ◇教授 宮津 純「齒車ポンプの端面すきまの流體力學 (第2報), 洩れ量とすきまの決定法」機械學會 第28期定時總會講演會 (1951.4.5)
- ◇教授 宮津 純, 野阪理男「齒車ポンプの端面すきまの流體力學 (第3報), 壓力分布・流線・洩れ量にたいする噛み合い角體・胴體のかぶりの影響」機械學會 第28期定時總會講演會 (1951.4.5)

— 審 稿 —

- ◇教授 久保田廣「非金屬薄膜」(理論と應用)日本物理學會誌 第5巻第5號 昭和25年9~10月號
- ◇教授 久保田廣「On Sensitive Color」J., Phy., Soc., Japan, 6 (1950) No. 1
- ◇助教 山邊武郎「ゼオライト」熱管理 第2巻, 12月號 12 (1950)

— 著 者 紹 介 —

- ◇新原 武雄氏 日本發送電本社 工務部長
- ◇安藝 皎一氏 所員 教授・工博, 安本資源調査會事務局 局長 專攻 河川工學
- ◇兼重寛九郎氏 所長 教授・工博, 專攻 熱工學
- ◇福田 節雄氏 東大工學部教授・工博, 專攻 發送配電工學
- ◇黒澤 俊一氏 安本資源調査會事務局
- ◇熊谷 寛夫氏 理工研所員 教授・理博, 專攻 原子物理學
- ◇守屋富次郎氏 東大工學部教授・工博, 專攻 流體力學
- ◇日高 孝次氏 東大理學部教授・理博, 專攻 海洋科學
- ◇橋 藤雄氏 所員 助教授・工博, 專攻 熱工學
- ◇藤高 周平氏 所員 教授・工博, 專攻 高電壓工學
- ◇村松貞次郎氏 大學院特研生, 專攻 建築技術史

編 集 後 記

◇われわれは一番身近な光熱源や, 交通通信機關を通じ動力, 或は燃料としてエネルギーの必要を感じる。そして最近のようにうっかり電熱器を使うと目の玉のとび出るような料金を取られ, 停電々々とおどかさ空を仰いで雨を待つようになると何とか電力が樂に使えるようにならぬものかと考えると同時に圍りを見廻して, もつと廉價な手取り早いエネルギー源はないかと考える。

◇最近日發問題や, 尾瀬沼論争等電力問題が新聞紙上をにぎわすのも, われわれの生活を支えるエネルギー源が主として電力によつて賄われているからであらうし, 原子エネルギーの工業化が大きな期待を持つて見

守られ, 地熱發電が問題に上るなどやはりわれわれの生活にとつてエネルギー問題というものは切つても切れない縁があるものである。

◇本號はわれわれの生活に如何にエネルギーというものが必要であるかということ, われわれが利用し得られるエネルギー源とその量, 將來性を取上げて特集とした。もとより36頁の小冊子でエネルギー問題をつくせるものではないが, その外貌だけでも汲み取つていただけたら幸である。

◇本號の編集に當つて, これ等の問題を系統立つて調査研究する機關の一つである經濟安定本部資源調査會の方々の御援助をいただいたことを感謝する。(S. M.)

編 集 委 員

- | | |
|-------|-------------|
| 編集委員長 | 友田亘孝 |
| 編集委員 | 山田嘉昭 小瀬輝次 |
| | *元良誠三 *宮津 純 |
| | 平尾 收 小川正義 |
| | 桑井源禎 丹羽 登 |
| | 森脇義雄 中村亦夫 |
| | 江上一郎 藤森榮二 |
| | 丸安隆和 濱口隆一 |
| | 星野昌一 |
| | (*印は當番委員) |

- 編集幹事 下村潤二朗
編集室 水野晴明

予 約 申 込

本誌は性質上市販僅少につき直接發行所宛に予約ねがひます。

一年分 840 圓
半年分 420 圓

予約の方の送料は本社負擔

第3巻第5號 生産研究 定價 80 圓 (郵税 3 圓)
1951年4月25日印刷 1951年5月1日發行

編集者 星 合 正 治
東大生産技術研究所
千葉市千場内通生町
電話 千葉 3 6 6 ~ 3 7 0

發行者 小 川 誠 一 郎

印刷者 井 關 好 彦

印刷所 大同印刷株式會社
東京都千代田區神田錦町 3~1

發行所 株式會社 誠文堂新光社
東京都千代田區神田錦町 1~5
電話 神田 (25) 2126~2130
電 報 東 京 6294・6567